

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・社内グループウェアに「ハラスメントに対する当社の方針」を掲示し、各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。また、ハラスメントに関する研修を実施している。 ・差別やハラスメントに関する相談窓口を総務経理グループ内に設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・「安全管理規程」に従って、毎年「安全衛生計画」を策定し、安全で衛生的な職場環境の整備に取り組んでいる。 ・毎年9月1日に「安全大会」を実施し、社員の安全衛生に関する意識の向上に取り組んでいる。 ・総務の安全管理担当者が、専門機関主催の「安全衛生講習」や「安全運転講習」に参加している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・嘱託・契約社員等)の公正な待遇を行っている。 ・厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」を理解し、ガイドラインに沿った体制を整備し、令和6年9月3日に熊本労働局の報告徴収も完了している。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・「個人別休暇カレンダー」、「有給休暇取得管理表」等により、有給休暇の取得を推進している。 ・毎月の「衛生委員会」にて、個人別の残業時間と部署の稼働状況の確認を行っている。 ・毎週水曜日を「ノー残業デー」として定時帰社の呼びかけを行っている。 ・熊本市の「結婚応援団体」に登録している。			3		5.5			8.5 8.8	10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・「人事制度制度」により、人材育成の仕組みを整備し、OJT、OFFJTによる教育を行っている。 ・「公的資格取得管理規程」により、資格取得費用の助成や、資格手当及び報奨金の支給を行っている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・(公財)熊本県総合センターにて、毎年健康診断を行い、(合同)熊本産業保健研究所に委託し、ストレスチェックを実施している。また、保健師、産業医による職場巡視、安全衛生研修等を実施している。 ・インフルエンザ予防接種を会社負担で行っている。 ・毎日15時に、ラジオ体操を館内放送し、体操を行っている。 ・毎週水曜日を「ノー残業デー」として定時帰社の呼びかけを行っている。 ・月末に総務の安全運転管理者から定期メールを配信し、交通事故等への注意喚起を行っている。			3					8							17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・当社では、年齢、性別、人種などの違いによる差別的待遇や業務運営は行っていない。 ・「えるほし」(厚生労働省)の認定を令和6年10月18日に受けている。 ・女性技術者、高齢技術者が活躍する職場環境となっている(社員105名中女性が27名、高齢者が24名を占めている) ・熊本労働局が主催する「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」に参加するなどして、精神障害者等のための環境づくりに取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5	10.2 10.3					16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●		・「在宅勤務規程」によって、在宅勤務(テレワーク)を推進している。また、時差出勤や感染症予防休暇等により、感染症に対応する勤務環境を整備している。 ・「経営計画発表会」や「安全大会」などストリーム配信(Web配信)にて実施しており、外部との打合せや研修などでもウェブ会議・研修等を活用している。			3						8	9.1	11	12					
20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・ドローン、3次元レーザー計測機器、3次元設計ソフトなどを導入し、業務の効率化と生産性の向上に取り組んでいる。また、DX推進研究会(PT)を立ち上げ当社における課題を協議し、課題解決に取り組んでいる。 ・在宅勤務(テレワーク)の推進のためにリモート環境を整備し、災害発生時や感染症蔓延に備えている。									8	9.1	11	12						
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		令和5年10月にプライト企業の更新認定を受けている。			3	4					8	9		12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・処理室のシンクに排水口を別添えし、ホルマリンを利用した機材を洗浄する際は排水をタンクに溜めている。 ・ホルマリンや試験薬などの有害化学物質を廃棄する際はマニフェストを提出し専門業者に依頼している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてガソリンや電気等のエネルギー使用量を算出している。 ・社用車は可能な限りハイブリッド車としており、蛍光灯はほぼ全てをLEDに切り替えている。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、社用車は、可能な限りハイブリッド車としている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・動植物類の国勢調査業務等を受注し、生物多様性や生態系等に関するデータを収集し分析している。 ・「NPO法人みらい有明・不知火」の会員として、産官学連携により有明海・八代海沿岸海域の再生と持続的な地域創出に向けた調査研究などを行っている。 ・海藻や海洋動植物の生息・生育環境の保全・創出のための現地調査、各種解析(波浪・漂砂・潮流)、施設的设计等に取り組んでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・紙ゴミ、可燃ゴミ、カン・ビン、ペットボトルの分別に取り組んでいる。 ・ペーパーレスの一環として電子化文書一括管理ソフト(Docuworks)を社内で広く活用している。 ・一部のプリンターではメーカー純正リサイクルトナーを使用しており、複合機の廃トナーはメーカーに回収を依頼している。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・県内の湖、河川、ダム等の水質調査業務を行っている。 ・「(公財)くまもと地下水財団」の賛助会員として、水源かん養の取組みに協賛している。また、財団主催のセミナー受講や、ウォーターオフセット事業に参加している。 ・各トイレにセンサー式蛇口を設置し、節水に役立っている。 ・雨水タンクを設置し、節水に役立っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・トイレトーパーやペーパータオルはリサイクル品を購入している。 ・コピー用紙はグリーン購入対象商品を購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・アーバンフォレスト(都市の樹木や樹材の環境的価値を高め、気候変動やヒートアイランド、都市洪水等に対して、レジリエントで生物多様性に富む豊かな都市を作っていくこととするもの)の推進活動に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13			15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム事務局として、沿岸海域における「防災と環境の調和」を目指した産官学連携によるシンポジウムの開催やオンライン講習会等を企画・開催し、海域・海洋でのゴミ問題等、海域環境の様々な課題解決に向けた情報交換、情報共有の場の運営スタッフとして取り組んでいる。 ・「緑川フェスタ」などのイベントの運営・補助スタッフとして参加し、環境の保全活動に取り組んでいる。												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

